

骨密度測定について

当診療所では DEXA 法 (Dual Energy Xray) により腰椎、大腿骨頸部で骨密度を測定しています。

☆用語の説明

骨密度 BMD 値 (Bone Mineral Density) により表されます。
これは骨に含まれるミネラル (カルシウムなど) の量 (g) を骨の面積 (cm²) で割った値 (g/cm²) です。

若い人と比較した値 若年成人比較 (%) (YAM 値)
骨密度が高いといわれる年代 (腰椎では 20~44 歳、大腿骨近位では 20~29 歳) の骨密度の平均値を 100% ととして、現在の骨密度がどのくらいになっているかを % で表した値です。

日本骨代謝学会診断基準では

YAM 値 70~80% : 骨量減少とし、将来骨粗鬆症を発症するリスクが高いとしています。

YAM 値 70%未満 : 骨粗鬆症の範囲だと診断し、精査治療を勧めます。

腰椎、大腿骨の YAM 値の低値の方を採用することとなっています。

同年代と比較した値 同年齢比較 (%)

現在の骨密度を測定時と同年齢の平均値を 100% として比較した値です。

T-スコア : 患者さんの BMD を YAM 値と比較した標準偏差 (SD 値)

Z-スコア : 患者さんの BMD を同年齢の平均値と比較した標準偏差 (SD 値)

(医) 山崎診療所

大阪市東成区大今里南 1-5-11

TEL/FAX 06-6981-0171